

ミスミが提案する 部品調達の デジタル革命

部品調達プラットフォーム
メヴィー
「mevivy」を展開

株式会社 ミスミ 3D2M企業体
代表執行役員企業体社長
吉田 光伸 氏



FAメカニカル部品・金型部品の製造・販売などを手がける(株)ミスミグループ本社(以下、ミスミ)は、Web上で3次元CADデータをアップロードするだけで即時見積りと最短1日出荷を可能にした次世代部品調達プラットフォーム「mevivy」^{メヴィー}を展開している。

同社は1977年にプレス金型用標準部品カタログを創刊して以降、カタログ番号で注文を受けて受注製作する「MTO」(Make To Order)のビジネスモデルを展開。“標準化”をキーワードにFA製造装置用部品などをラインナップに加えながら独自の発展を遂げてきた。

2000年代以降は紙のカタログをデジタル化。2010年からは、他社ブランド商品も同社のECサイトから一括で購入できる「VONA(Variation & One-stop by New Alliance)事業

をスタートし、取り扱いメーカー数は3,000社以上、商品点数は2,740万点にのぼる。

今では世界中に営業拠点64カ所、配送センター17カ所、生産拠点23カ所を持ち、顧客数はグローバルで30万社を超え、「モノづくりの社会インフラ」とも呼べるサプライチェーンをグローバルで確立。2018年度の売上高は2001年度比で約6倍の3,319億円に達した。

さらに「mevivy」の登場によって、ミスミは従来の主力ビジネス——カタログから注文する「規格品」の製造・販売に加え、図面から製作する「図面品」にも対応できることになった。mevivyを推進するミスミの社内カンパニー「3D2M企業体」の吉田光伸企業体社長にmevivyの現状や今後の展望について聞いた。